

2025年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試(A日程) 2月2日

国 語

全学部 全学科

◎問題用紙 5枚
◎解答用紙 1枚(両面)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

※答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

問題一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(あ)

(a)

(ア)

(イ)

(ウ)

(エ)

(オ)

(イ)

(A)

(B)

(C)

(D)

問一 ―線(ア)く(オ)のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 ―線(あ)「」と、―線(い)「」の読みを平仮名で書き、その意味を説明しなさい。

問三 ―線(a)「」ためには何が必要であると作者は述べているか、十五字以内で書きなさい。

問四 (A)く(D)に当てはまる接続詞を、次の①～⑤からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

- ① けれども
- ② それは
- ③ ところで
- ④ もちろん
- ⑤ だとすると

問五 コロナ危機下において、あらわになった傾向とは何か。説明している文章の最初と最後の五文字を書き抜きなさい。

問六 作者の考えに当てはまらないものを次の①～⑤から二つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 人間の生には必要と目的だけでは充足しない、豊かさを求める志向がある。
- ② 「不要不急」とラベリングされたものを容易に排除する風潮には、贅沢や浪費を厭う論理が働いている。
- ③ 贅沢や浪費は生存には直接的に必要なものなので退けるべきである。
- ④ 現代社会はあらゆるものを目的に還元し、目的からはみ出るものを認めなくなりつつある。
- ⑤ コロナ危機下で起こった様々な制限は、人々の贅沢への警鐘である。

問七 本文の論点について、「必要と目的に還元される社会」に対する自分の考えを百字以内で書きなさい。

問題二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

[Redacted text block containing vertical bars and labels (カ), (オ), (エ), (ア), (ウ), (イ), (ハ), (あ)]

(う)

(え)

(お)

問一 ― 線(ア) く(カ) のカタカナを漢字に、漢字はその読み方を平仮名で書きなさい。

問二 ― 線(あ) 「」とは、どのような意味か、正しいと思うものを次の①

⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① さまざまな制限がかかってデザインの余地がない。
- ② すでに完璧なたちになっている。
- ③ 素材の性質上変えることができない。
- ④ 公共の機器なので一律に統一されている。
- ⑤ 信号の機能を重視しデザイン性は求められていない。

問三 ― 線(い) 「」について、なぜ背面のデザインに着目したのか、その理由と工夫したことを文中のことばを使って五十字以内で説明しなさい。

問四 ― 線(う)  の「」、― 線(え)  の「」の文字を使い、二字の熟語をそれぞれ四つ書きなさい。

問五 ― 線(お)  の意味を説明し、それを使って短文を作りなさい。

問六 本文を読んで、作者が考えるプロダクトデザインとしての「美しさ」とはどういうことか、誤っていると思うものを次の①～⑤から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 無駄を省いた合理的なかたちである。
- ② ありふれたかたちであっても美しさを感じるかたちである。
- ③ そのものが本来あるべきかたちである。
- ④ 自分の作品であることが一目でわかるかたちである。
- ⑤ その場に馴染み違和感がないかたちである。

問七 本文を読み、一般的なデザインとプロダクトデザインはどんなところが違うと思うか、百字以内で書きなさい。